シャープ通信

2025 年 3 月　vol.46

「シャープの今」をお届けします。

広報部

代表取締役社長執行役員　兼　CEO の沖津さんと若手社員の懇談会を各拠点で開催



懇談会で若手社員に説明を行う代表取締役社長執行役員　兼　CEO の沖津さん

沖津さんが各拠点を訪れ、若手社員懇談会を行いました。懇談会の前半では、沖津さんの自己紹介にはじまり、新体制、中期経営方針、決算発表内容、サプライチェーンとの関係性などについて、資料を見せながら説明しました。後半は、若手社員が一人ずつ自己紹介をしてから、会社についての質問はもちろん、業務の悩みから将来のことについてなど、ざっくばらんに沖津さんと交流しました。





若手社員のみなさんは、懇談会が始まる前こそ緊張の面持ちでしたが、いざ始まると沖津さんのお人柄も相まってか、リラックスして交流しているようでした。現場でのリアルな改善点なども挙げられ、これを機会に改善が必要な会社の仕組みについて議論も行われています。「社長に自分の話を聞いてもらえてありがたい」「相談した内容を業務に活かしていきたい」「業務上の悩みを相談できたのがよかった」「さまざまな部門の方と一同に会する機会がなかったのでそれぞれの立場での話を聞けて良かった」という感想をいただきました。

「2024 年度　省エネ大賞」においてカラー電子ペーパーディスプレイ『ePoster』2 モデルが「資源エネルギー庁長官賞」を受賞



左より　常務執行役員　スマートビジネスグループ長　兼　スマートビジネスソリューション事業本部長の河村さん、
スマートビジネスソリューション事業本部　デジタルイメージングソリューション事業部　商品企画部　課長の中村さん

一般財団法人省エネルギーセンターが主催する「2024 年度　省エネ大賞」製品・ビジネスモデル部門において、当社の「カラー電子ペーパーディスプレイ『ePoster』2 モデル＜EP-C251＞＜EP-C131＞」が「資源エネルギー庁長官賞」を受賞しました。

『ePoster』は、“消費電力 0W”での表示保持を実現。電力を必要とするのは表示を書き換えるときのみと、優れた省エネ性能を有しています。紙のような高い視認性と豊かなカラー表現力を兼ね備えています。また、薄型・軽量設計も実現し、これまで電源供給や耐荷重の課題からデジタルサイネージの設置が困難だった場所でも活用が可能です。さらに、遠隔から複数台の一括表示書き換えにも対応しています。

『Life Eee コネクト』サービスが令和6年度「新エネ大賞」の「資源エネルギー庁長官賞」を受賞

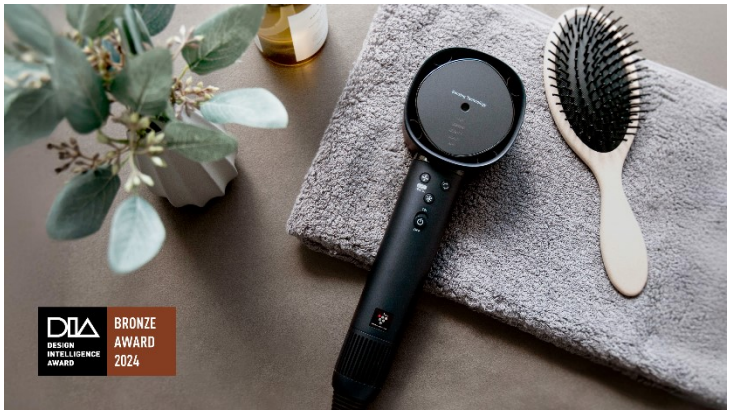


左より　シャープエネルギーソリューション株式会社（SESJ）　代表取締役社長の五角さん、
SESJ　エネルギーマネジメント事業統轄部　エネルギーマネジメント商品企画部　参事の星出さん

太陽光発電システムと家電や住設機器を連携して電気代を抑制するシャープのエネルギーマネジメントサービス『Life Eee コネクト』が、一般財団法人新エネルギー財団が主催する令和 6 年度「新エネ大賞」（後援：経済産業省）の商品・サービス部門において、「資源エネルギー庁長官賞」を受賞しました。

『Life Eee コネクト』は、太陽光発電システムを設置されているご家庭において、当社独自の AI がお客さまに代わり家電や住設機器を賢く制御するエネルギーマネジメントサービスです。これまでにエアコンや給湯器、冷蔵庫、ドラム式洗濯乾燥機との連携を実現しています。

プラズマクラスタードレープフロードライヤーが『2024 Design Intelligence Award』で銅賞を受賞



プラズマクラスタードレープフロードライヤー 900 series＜IB-WX901／IB-WX902＞

プラズマクラスタードレープフロードライヤー＜IB-WX901/IB-SP54C※1＞が、『2024 Design Intelligence Award（DIA）』で銅賞を受賞しました。受賞カテゴリーは、プロトタイプや発売 2 年以内の製品を対象とする「プロダクト部門※2」です。プラズマクラスタードレープフロードライヤーは、4 つの吹出口から速く強い風を送り出す新開発の速乾方式「ドレープフロー X4 （エクスフォー）」により、髪を立体的に押し分け、根元や頭部の広範囲に効率良く風を届ける新感覚の美髪速乾ドライヤーです。

※1 ＜IB-WX901＞は日本市場向けモデル、＜IB-SP54C＞は中国市場向けモデルとなります。
※2 「プロダクト部門」以外に、設計段階のデザインを対象とする「コンセプト部門」があります。

プラズマクラスター冷蔵庫 5 機種を発売



左から、プラズマクラスター冷蔵庫＜SJ-MF55P-H/MF51P-W/MF46P-H/MF43P-W/MW46P-H＞

「つないでもっと節電」がさらに進化。無線 LAN に接続することでクラウド上の AI が生活パターンを学習し、最大約 35%※3 の節電を実現しました。

※3 「つないでもっと節電」ON（自動製氷一時停止モード時）と通常運転（自動製氷運転時）との比較。電力の消費を抑えた運転をするために、食品保存に影響を及ぼさない範囲で、庫内温度を約 2～3℃高めに設定します。設定温度「中」、新鮮冷凍「切」、周囲温度 35℃、ドア開閉なしでの 1 日当たりの消費電力量から算出。＜SJ-MF55P＞：通常運転（自動製氷運転時）1.523kWh→「つないでもっと節電」ON（自動製氷一時停止モード時）0.983kWh。JIS C 9801-3:2015 測定基準とは異なります。使用環境（温度調節・周囲温度・ドア開閉頻度・食品の量など）により節電効果は変わります。無線 LAN への接続が必要です。

★ WEB 社内報をご覧いただけます！！
URL： https://blog.jp.sharp/family/
または、こちらの QR コードからアクセスしてみてください！！ →

2024 年度 第 3 四半期決算を発表

2 月 7 日（金）、当社は堺本社多目的ホールにて、2024 年度第 3 四半期の決算を発表しました。



前列左から、専務執行役員 CFO 兼 管理統轄本部長の小坂さん、代表取締役社長執行役員 兼 CEO の沖津さん
後列、管理統轄本部 IR 部長の中道さん

2024 年度第 3 四半期のブランド事業の売上高は、3 セグメントすべてが増収となり、3,918 億円と前年同期を上回りました。営業利益についても、円安によるマイナス影響があるなか、全セグメントで増益を達成しており 294 億円となります。また、デバイス事業は減収となったものの、ディスプレイ事業の構造改革を進めた効果があり、営業赤字は前年同期の 122 億円の赤字に対して、50 億円の赤字と大幅に縮小しました。

経常利益・最終利益は、営業外損失として、為替差損が発生したこと、特別損失として、アセットライトに関連する減損損失、事業構造改革費用を計上したことから、減益となりました。また、第 3 四半期までの業績を考慮し、通期の業績予想の見直しを行っております。

【各セグメントの概況】

［ブランド事業］ ＜スマートライフ＆エナジー＞の売上高は、白物家電事業、エネルギーソリューション事業とも増収となり、前年同期比 6.5%増の 1,164 億円となりました。白物家電事業は、国内がほぼ横ばい、海外が大幅な増収となりました。エネルギーソリューション事業では、市況低迷の影響から海外の売上が減少しましたが、国内の EPC などが前年同期を上回りました。＜スマートオフィス＞の売上高は、PC 事業が増収、ビジネスソリューション事業が減収となり、前年同期比 9.0%増の 1,638 億円となりました。＜ユニバーサルネットワーク＞の売上高は、テレビ事業・通信事業とも増収となり、前年同期比 20.5%増の 1,115 億円となりました。テレビ事業は、国内外とも増収となりました。国内では、XLED・OLED モデルが引き続き堅調に推移しました。海外では、米州、欧州、アジアなどでコスト競争力のあるモデルが好調でした。通信事業は、AQUOS sense9 など新製品が好評で、大幅な増収となりました。

［デバイス事業］ ＜ディスプレイデバイス＞の売上高は、前年同期比 4.5%増の 1,320 億円となりました。スマートフォン向けディスレイや大型ディスプレイは減収となったものの、PC・タブレット向けディスプレイが伸長しました。＜エレクトロニックデバイス＞の売上高は、前年同期比 67.6%減の 444 億円となりました。2024 年より新たに量産を開始した車載用や新製品の受注を獲得した加工用の半導体レーザーなどは伸長しましたが、センサーモジュールの顧客需要が変動した影響が大きく、大幅な減収となりました。

第 3 四半期までの実績を考慮し、売上高と営業利益については、それぞれ 2 兆 1,000 億円から 2 兆 1,300 億円と 100 億円から 200 億円に上方修正、経常利益は、100 億円から 10 億円に下方修正しております。また、最終利益については、2024 年度は、2021 年度以来、3 年ぶりに黒字を達成できる見込みです。最終利益の通期予想は、改めて公表させていただきます。